

令和元年度 卒業証書授与式「式辞」

日高町の厳しい寒さの中にも、春の訪れが、日に日に感じられる季節となりました。

本日ここに、北海道日高高等学校、第67回卒業証書授与式を挙げるにあたり、大変ご多忙の中、日高町 町長 大鷹 様、副町長 蔦 様、日高町教育長 武田 様をはじめ、多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り、心から御礼申し上げます。

今年度は、昨年5月から新しい元号『令和』が始まりました。さらに2020年は、東京オリンピックの年でもあります。当初から予定が変更になり、世界のスポーツ・平和の祭典であるオリンピックの一部種目が、この北海道、札幌の地でも開催されます。

新たな時代の始まりに加えて、世界的な祭典が行われることで、国民全体が、夢や希望を抱いているところです。

一方、世界を恐怖に震わせた「新型コロナウイルス」に加え、昨年の全国的な台風被害で、各地で甚大な被害が発生しました。被災された方々に、ご冥福をお祈り致しますとともに、一日も早い復興・復旧を心からお見舞い申し上げます。

現在、少子化による人口減少、都市集中型の構造への変化が全国的に進んでおり、昨年度は本校も入学生が6名と学校存続において危機的な状況となりました。この状況を鑑みて、様々な生徒募集について実践しました。その成果もあり、4月には15名の新入生を迎え入れる準備をしているところです。

また地方活性化を図る国の政策として、「地方創生」があげられますが、本校でも昨年度よりコミュニティ・スクールを導入し、地域との繋がりを大切にしたい学校経営を実践しているところです。

さて、保護者の皆様、大切なご子息を3年間お預かりしましたが、産業学習や高校寮、そして高校での活動を通して、家族のように生活し、一人ひとりが大きく成長しました。その姿をみて、お喜びはひとしおと拝察いたします。

今年度卒業生の7割が道外からの生徒です。親元を離れ自立した生活を営み、保護者の皆様もご心配が絶えなかったのではないかと思います。

改めまして今までのご労苦に対し敬意を表するとともに、本校の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、ただいま卒業証書を授与した10名の生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私たち教職員一同、心からお祝い申し上げます。卒業生の皆さんは、私が着任した3年前に入学しました。この1年を回想してみても、

○定通体連、地区大会で学校種目で団結して飛んだ長縄跳び 68回の大記録

全道大会へ出場した バasketボール・卓球、スキー、そして、バドミントンは、団体3位

- 高文連、全道写真大会 4名出場
- みんなで協力し合った『第14回 こもれば祭』『山岳太鼓』
- 生活体験発表大会では、日勝支部大会で優秀賞の受賞
- 福祉関係では「高寿園」ボランティア活動
- 産学合同の登山、スポーツ・レクリエーション、クリスマス会
- 芸術鑑賞
- 富川高校、十勝の大樹高校とのスキー交流事業

沢山の実りある体験活動ができたと思います。

生徒の皆さんにとって在学中に得た高校生活最大の財産は『人との出会い』です。ここ日高での人と人との絆は、間違いなく皆さんの宝物です。級友、先輩、後輩や、地域の方々、産学・学校の教職員との出会いを大切に、今後の人生の糧としてこれからも頑張ってください。

もう一つ、今日この日を迎えられたのは、皆さんの努力、教職員全員のサポートもありますが、一番は本日出席の保護者の皆様のご支援があったからこそだと思います。そのことをしっかり胸に刻み、感謝の気持ちを持って旅立ってください。

結びに、卒業生の皆さんが残してくれた笑顔と行動力、数多くの実績は、後輩達がしっかり受け継いでくれることと思います。素晴らしい成果と新風を吹き込んでくれたことに、改めて心から感謝、そして、敬意と賛辞を送り、洋々たる前途を祝し、10名を見送りながら式辞といたします。

令和2年3月1日 北海道日高高等学校長 町田英謙